この子らを世の光に　地域であたり前に暮らせる環境を

奈良県 手をつなぐ親たち

第139号
令和４年３月31日発行

[発行]一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会
[県事務局]〒634-0061
奈良県橿原市大久保町 320-11
奈良県社会福祉総合センター内
☎　0744-29-0150 Fax　0744-29-0151
HP http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/
[発行責任者] 理事長　阪口　貴子
[編集責任者] 有働　和美

目次

1　第 139 号奈良県手をつなぐ親たち　発行に寄せて
一般社団法人
奈良県手をつなぐ育成会
理事長　阪口　貴子

2　寄稿
コロナ禍の中で…
「多面的・複眼的な視点とポジティブな姿勢を！」
奈良県特別支援学校長会
会長　前川　裕道　氏
（奈良県立奈良西養護学校長）

3　寄稿
「障害福祉」に携わって
奈良県福祉医療部障害福祉課
課長　東川　富成　氏

4～6
奈良県手をつなぐ育成会
年次活動報告
奈良県障害者自立更生者及び更生援護功労者知事表彰
広告（ぜんち共済）

7　新成人おめでとうございます

8　令和３年度賛助会員様
令和４年度予定
編集後記

第139号　奈良県手をつなぐ親たち　発行に寄せて

一般社団法人　奈良県手をつなぐ育成会
理事長　阪　口　貴　子

はじめに

令和４年２月24日から、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻。ウクライナには、約 280 万人の障害のある方がおられるそうです。祈ります。直ちに停戦を！！心がざわつきます。経済、障害福祉への影響の懸念。平和なくしてわが子らのしあわせはありません。

コロナ禍の中で

令和3年度の総括とすると　コロナ禍でも、一歩でも前に進める思いで、令和4年1月半ばまでは、ほぼ予定通り活動を推進させていただきました。事業内容については、4～6ページをご覧ください。

市町村育成会では、感染者が減少時（令和３年 11 月～12 月）に、焼肉パーティ・クリスマス会・会員宅訪問・ボーリング大会等を企画され、会員交流をされました。入所支援施設の利用者の方々も一時帰宅が出来てほっとしました。

令和４年、１月４日に、奈良県でもオミクロン株の感染者が発見され、その後の急激な感染拡大により、奈良県育成会は、事業（理事会・市町村会長会・仔鹿園との交流会・知的障害者相談員研修（2回目・防災）・啓発キャラバン隊等）を中止としました。

第6波の猛威は、誰が感染してもおかしくない状況でした。障害福祉部門での感染事案数は、350件以上だそうです。多くの障害福祉事業所や学校での自宅待機、閉所、分散通所等も相次ぎましたが、本人たちも様々な場面で頑張りました。

多くの事業所の職員の皆さまには感謝です。行政の皆様の土日を返上しての勤務にも感謝申し上げます。奈良県も抗原検査キットを追加購入（1万人分）されたようです。

本人たちの3回目のワクチン接種（個別接種・指定病院での接種・事業所内接種等）は、早い人は２月末から始めておられます。感染者数は高止まりです。ステルスオミクロン株の情報もあり、3回目のワクチン接種に期待し、接種が速やかに進むことを願います。

令和４年度にむけて

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会（全育連）は、育成会としての結成より70 周年目となります。全育連の久保会長は「歴史ある育成会、結成時の思いを顧みて、誇りと自信をもって明るく、軽やかに柔軟な活動の推進」を望まれています。全育連賛助会員としての機関誌「手をつなぐ」の購読もお願いいたします。

奈良県育成会は、令和4年10月23日に、奈良県社会福祉総合センターにおいて、「第61回近畿知的障がい者福祉大会・奈良大会」を開催いたします。大会主題は「知的・発達障がいのある人の地域医療の充実に向けて」です。現地参集とオンライン配信で行うハイブリット形式で参加費無料です、現在試行錯誤しながら手作りで準備を進めています。市町村の育成会・関連の事業所はじめ、皆様の応援・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、ハートランドしぎさん「子どもと大人の発達センター」のセンター長の岩坂英巳先生の遺作図書『発達障害のある子どもがいきいきと輝く「かかわり方」と「工夫」』を紹介いたします、ペアレントトレーニング・感覚統合・SSTを活用し、困りごとから、自己肯定感につなげていくため、多くの障害福祉サービス事業所や特別支援学校の現場で活用をしていただきたいです。（3 月 16 日記）